

あいさつ

大阪市中学校教育研究会
特別支援教育部長 柿花 正信

機関誌「特別支援教育」第62号の発刊にあたり、貴重な実践や研究成果をお寄せいただきました諸先生方ならびにご尽力賜りました「特別支援教育」編集委員の先生方に心より感謝申しあげます。

さて、大阪市中学校教育研究会特別支援教育部では、「共に学び、共に育ち、共に生きる」共生社会をめざすインクルーシブ教育システム構築にむけて、日々実践しております。全市規模の交流行事に携わるとともに、生徒一人一人の自立と社会参画を見据え、教育的ニーズに的確に応えるための専門性の向上や教育環境の整備等、本教育の更なる発展のため取組を進めております。

平成28年4月には、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行され、「差別的取り扱いの禁止」や「合理的配慮の提供」が義務付けられました。平成29年3月には、幼稚園教育要領、小・中学校学習指導要領の改訂が告示され、特別支援教育に関しては、「個別の教育支援計画」および「個別の指導計画」を全員作成すること、また、「総則」だけでなく、すべての教科等における「指導計画の作成と内容の取扱い」に、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行うことも明記される等、障がいのある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導支援が求められています。さらに、今年7月には文部科学省より「障害者の生涯学習の推進方策について（平成31年3月学校卒業後における障害者の学びに関する有識者会議報告）」の通知があり、個別の教育支援計画に「生涯学習」の位置付けが盛り込まれるなど新しい観点が示されました。これらのことからも、本研究会と「大阪市中学校特別支援教育担任者会（担任者会）」とが一体となり、大阪市教育委員会インクルーシブ教育推進担当等と一層の連携を図り、更なる取組の充実が求められます。

大阪市の特別支援教育に関しては、全市的行事の参加校、参加生徒数も年々増え、「合同うんどう会」・「ふれあいステイ」・「ふれあいデイキャンプ」・「作品展」などの行事と共に、全市研究発表会をはじめとする研究活動が充実しております。また、本年度も大阪市教育委員会学校活性化推進事業「がんばる先生支援」の指定をいただき様々な取組を重ねました。特に、「インクルーシブ・フレッシュ研修会」では、次の世代への継承・伝達・交流を柱に専門性を高める特別支援教育振興会の選択講座研修を行いました。他には、今年10月9日に実施された全市研究発表会において、「子どもたち一人一人が、共に学びに向かい生きる力を育む教育をめざして」という研究主題のもと、「不登校から高等支援学校進学へ～私、がんばる！～」と題して住吉中学校、松虫中学校より、「不登校生徒への対応についての一考察～大阪市5Bの取組、実践報告～」と題して東生野中学校、生野中学校、桃谷中学校、大池中学校、巽中学校より、それぞれ研究発表がありました。

最後になりましたが、様々な行事等の企画、準備、開催等にご支援ご協力をいただきました担任者会の先生方、大阪市教育委員会、小学校教育研究会、旧大阪市立特別支援学校、公益財団法人大阪特別支援教育振興会をはじめ関係諸団体や多くの皆さんに深く感謝申しあげ、あいさつとさせていただきます。

令和元年度に特別支援教育部・担任者会が取り組んだ主な行事は次のとおりです。

- ① 特別支援教育部担任者会全体会
令和元年5月22日（水） (於：鶴見区民センター)
- ② 第62回大阪市中学校特別支援学級・支援学校中等部 合同うんどう会
令和元年5月28日（火）〈雨天中止〉 (於：ヤンマーフィールド長居)
- ③ 第56回全特連近畿ブロック研究協議会 滋賀県大会
令和元年8月9日（金） (於：滋賀県文化産業交流会館)
- ④ 全特連・発達障害教育夏期セミナー（大阪会場）
令和元年8月20日（火）、21日（水） (於：アネックスパル法円坂)
- ⑤ 第58回全特連全国大会 埼玉大会
令和元年10月17日（木）、18日（金）
(於：大宮ソニックシティホール)
- ⑥ 第62回大阪市特別支援学級 ふれあいステイ
令和元年11月6日（水）～8日（金）
(於：信太山青少年野外活動センター)
- ⑦ 第8回大阪市中学校特別支援学級 ふれあいデイキャンプ
令和元年11月14日（木）、21日（木）、22日（金）
(於：大阪市舞洲障がい者スポーツセンター（アミティ舞洲）)
- ⑧ 大阪市中学校特別支援学級・支援学校 生徒作品展
(第57回ぼくたち・わたしたちのさくひん展)
令和2年1月16日（木）～22日（水） (於：大阪市役所1階ロビー)
- ⑨ 第58回特別支援学級 卒業生を励ます会
令和2年2月28日（金）〈コロナウイルスの為中止〉
(於：天王寺区民センター)
- ⑩ 中学校教育研究会 全市一斉研究発表会及び年度末研究報告会
令和元年10月 9日（水） (於：大阪市教育センター)
令和2年 2月20日（木） (於：大阪市教育センター)

以上、主な行事をあげましたが、多くの行事を通して子どもたちは明るい笑顔を見せてくれます。子どもたちにとって、いろいろな行事に参加することは自己実現の場であり、他の学校の生徒と交わることで社会性を育み、「自立する力」「生きる力」「発達可能性」を追求する有意義な機会であります。それぞれの行事の企画・準備から開催まで関わっていただきました担任者会の先生方に厚くお礼申し上げます。

また、この機関誌「特別支援教育」の発刊にあたり、貴重な実践や研究成果を寄贈くださいました先生方並びにご尽力いただきました「特別支援教育」編集委員の先生方に厚くお礼申し上げます。—

「特別支援教育」第62号の発刊に寄せて

大阪市教育委員会
インクルーシブ教育推進担当
課長 藤原和彦

大阪市立中学校教育研究会特別支援教育部の活動と研究の成果をまとめられました「特別支援教育」第62号の発刊に際しまして、ごあいさつを申しあげます。

はじめに、中学校教育研究会特別支援教育部におかれましては、中学校特別支援教育担任者会と連携し、「合同うんどう会」「ふれあいステイ」「ふれあいデイキャンプ」

「ぼくたちわたしたちの作品展」「卒業生を励ます会」等の行事を開催され、学校間の交流及び担任者間の連携に努めてこられました。また、本市特別支援教育の充実・発展に向け、教職員の特別支援教育における専門性の向上を図るために各種研修会も開催される等、長きにわたり生徒一人一人の自立に向けた実践とともに、教育的ニーズに応じた指導方法等の工夫を取り組まれてこられたことに、深く敬意を表しますとともに、お礼を申しあげます。

今年度の大阪市立中学校教育研究会研究発表会は、『子どもたち一人一人が、共に学びに向かい生きる力を育む教育をめざして』を研究主題に開催され、住吉中学校・松虫中学校から「不登校から高等支援学校進学へ～私、がんばる！～」と題し、登校できなかつた生徒に対し、家庭訪問を繰り返し、少しずつ行動範囲を広げ、本人との関係を構築していくことで登校に導いていかれた実践報告をいただきました。また、東生野中学校・生野中学校・桃谷中学校・大池中学校・巽中学校から「不登校生徒への対応についての一考察～大阪市5Bの取組、実践報告～」と題し、各校より不登校生徒への対応について実践報告されました。発達障がいのある生徒が周囲とうまく関係構築できないことや、学習の困難さが克服できないこと等により、不登校に至る事例も増えてきています。生徒に寄り添い、粘り強く支援を続けられた取組の報告をいただきました。

各校におかれましては、これらの報告を参考に、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を一層工夫し、研究主題に示す教育の実践がさらに深化・充実しますよう期待しております。

さて、中学校では来年度の移行期を経て令和3年度から新学習指導要領が本格実施されますが、特別支援学級在籍生徒や通級による指導を受ける生徒については「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を全員作成することや、保護者の参画による「個別の教育支援計画」の作成等、障がいのある生徒一人一人に対する適切な指導・支援を引き続きよろしくお願いいたします。

本市では従来より、障がいのある生徒と障がいのない生徒が「共に学び、共に育ち、共に生きる教育」を推進し、障がいのある生徒一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育を進めております。教育委員会としましては、今後も貴特別支援教育部ならびに担任者会と連携を図り、インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育の一層の充実に取り組んでまいります。

終わりになりましたが、貴特別支援教育部と貴担任者会のご発展、並びに関係の皆様の益々のご活躍を祈念いたしましてごあいさつといたします。